

＜第2回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和6年5月28日（火） 18:00～19:30
場 所 竜神交流館 多目的ホール
出席者 委 員 16名
事務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、山口書記
オブザーバー 杉本市議

1 会長あいさつ

- ・あいさつ（省略）

2 報告事項

(1) 第1回竜神地域会議会議録について

- ・内容の確認

(2) 「高岡春のファン祭り」開催報告について

- ・開催報告について事務局より説明

(3) 提言及び回答について

- ・スライドを用いて課題検討の経緯と提言書の内容を説明
- ・提言に対する回答内容を説明

委員より意見

＜委員＞事故の原因がわからないと対策のうちようがないので、それがわからない現状で事故を減らすことは難しいのではないかと。地域の方が事故を起こしているのであれば、提言書にあるように地域住民一人ひとりが交通安全を意識して行動すれば良いが、地域外の方が事故を起こしているのであればその人たちに向けた対策が必要ではないかと。

＜事務局＞竜神地域の事故に関しては、自動車対自動車が多いので、通勤などで地域外から竜神地域に入ってくる人が事故を起こしている可能性が高いと考えている。外部から地域内に来る人に関しては、赤色回転灯での啓発と、スマホアプリ内の広告を利用した啓発でアプローチしていくことを考えている。他にも交通安全事業で良いアイデアがあれば、次年度以降に実施していくこともできるので、次回の地域会議で協議していく予定です。

＜委員＞自治区内に企業がたくさんあり、自治区と企業で懇談会を開いて対策の話し合いをしているが、なかなか改善されない。提言の実現に向けて、企業も交えて考えることは可能なのか。

＜事務局＞マップ作成後に近隣企業にも配布し、社内で周知してもらうよう依頼をしていく予定なので、企業を交えて考えることは可能です。

＜委員＞誰に向けて誰が活動するのがよくわからない。事故の原因に対して手を打つというのが基本だと思うが、ドライバーが何かをやるのか、住民が何かをやるのか、子ども達が何かをやるのか、今発生している事故に対して何をやればいいのか理解できない。

<事務局> 事故に対してハード面で手を打つことは、自治区から提出される工事申請で対応していく。誰に何をしてもらうかということだが、地域外の人には先程話したスマホアプリなどで周知し、地域の人には地域内で通り抜けが多くて危ない道等に関してマップを通して周知し、働きかけていく。

<委員> 事故を減らすためにハード面でできることは赤色回転灯以外にもあると思う。その具体的なアイデアを出していくべきではないか。

<事務局> 次回の地域会議で事故を減らすために何ができるのかは話し合っていく。

<委員> 危ない場所をマップで地域の人に理解してもらい、自分で気を付けるということも必要なのではないか。

<委員> 「誰に」の対象者が子どもの場合、マップを作って子どもに見せても理解が難しいのではないか。

<事務局> 誰が事故の加害者、被害者かというところの情報は開示されないので情報収集が難しいが、事故原因は情報収集できると思うので、確認します。

<委員> 提言書に添付されている交通事故発生場所のマップはどこが作成したものなのか。これを見れば事故の発生状況がわかるので、これを見て対策を考えていけば良いのではないか。また、これから作るマップというのはこれとは別で、地域住民から危険箇所を聞いて作るものなのか。地域住民から危険箇所を聞き取りするというのは無理があると思う。通勤時間や場所を絞って対策をしていく方が事故は減るのではないか。

<事務局> 提言書に添付した小学校区別のマップは交通安全防犯課が作成したものです。これから作成するマップの地域住民に対する危険箇所の聞き取りは、普段生活している中でヒヤリハットした場所の聞き取りです。いただいたご意見は検討していきます。

(4) 令和6年度地域課題解決事業について

・スケジュールについて説明

<委員> 春のファン祭りではヤリハットマップを体験したが、とても良いマップだと思ったので、あのマップをうまく活用できないか。

<事務局> ヒヤリハットマップや先程の小学校区別マップなど、すでに作成されているマップもあるが、あまり周知されていない。こちらの周知もイベントを利用するなどして行っていく予定です。また、小学校区別の事故マップの内容も今回竜神地域で作成するマップにある程度おとしこんでいく予定です。

<委員> 今まで活動してきて、こういうことをやるからこれの作りこみをするのが自分達の役割なのか、今こういう問題があるから問題解決するために解決策を作ってくださいというのが自分達の役割なのか、どちらなのか。すでにやることは決まっているように思うが、それを詰めていくということなのか。

<事務局> 後者です。地域会議は実働部隊ではなく審議する機関なので、みなさんで解決策を話し合っただき、それを実際にやるのは市です。すでに昨年度の時点で事業内容は決まっているので、その内容の中身をより良いものにするためにどうしたら良いかを検討していただきたいです。また、新たにこんなことをしてはどうかというアイデアがあれば、それも検討していきます。

<委員> 赤色回転灯はどこに設置するのか。

<事務局> 設置場所は現在検討中だが、広い道路ではなく、通り抜けが多い道路などでの設置を考えている。自治区や豊田都市交通研究所などと相談しながら設置箇所を検討

していきます。

- ・事業計画書について説明

3 その他

(1) 口座振込依頼書について（省略）

(2) 次回地域会議について

- ・次回地域会議での協議予定事項について説明

事務局より質問

<事務局> 地域会議の資料を事前に送付した方が良いか

<委員> 賛成委員：約5名

反対委員意見：当日、資料を忘れてくる可能性もあるので、事前送付は不要。

資料が多い場合のみ事前送付を検討してはどうか。

<事務局> 検討します。

★次回開催

6月25日(火) 午後6時00分～